

市政をもっと身近に！わかりやすく！

てんどう 市議会だより

2023
8.1
No.181
6月定例会

地域のこえ
未来に活かす
まちづくり



今回の表紙「入道雲と金魚」 作者：天童市立第四中学校 美術部3年 村山柚稀さん

特集1 議会報告・意見交換会を開催

特集2 先駆けの取組み学び まちの未来に(常任委員会行政視察報告)

交換会を開催



天童市議会では、議員が地域を訪問して議会の活動内容を報告・説明しながら、より良い天童市にしていくために市民の皆さんとの意見交換を行っています。

今回は、5月15日と16日の2日間、市内12カ所で議会報告・意見交換会を開催し、68人の方が参加しました。

議会報告の部では令和4年度の議会活動について報告し、意見交換の部では地域の課題などについて話し合い、貴重なご意見をお聴きすることができました。議会にいただいたご意見、ご要望等は対応を協議し、調査・研究を進めて、一般質問や政策立案につなげてまいります。

なお、各会場の報告書は、質問に対する回答を含め、市立公民館及び市ホームページでご覧いただけます。



意見交換会でのご意見は、このように活かしています！

執行部から聴き取り 各班で報告書を作成 議会報告・意見交換会



皆さんからいただいた課題や意見を取りまとめ、報告書を作成します

報告書の中から調査・検討が必要な事項について執行部に聴き取りを行い、市民に回答します

いただいた課題や意見については、調査・研究を進めて、一般質問や政策提言に活用していきます



市長にこの問題について伺います！

3班

天童北部・成生

松田光也、武田正二、三宅和広

各町内会の役員の方などを中心に参加をいただいた。地域の安心・安全、環境、観光、学童保育、市立図書館、市立公民館の分館など、地域が抱えている課題や意見を詳しく聞くことができた貴重な機会となった。今後、こうした地域課題の解決に向けて積極的に取り組んでいく。

(班長 松田 光也)

2班

蔵増・天童南部

山崎諭、狩野佳和、熊澤光史、古澤義弘

両会場とも参加人数は多くなかったが熱心な発言がなされた。市主催での敬老会の取りやめについて市報の内容だけではわかりづらく、もっと具体的に周知してほしいとの声や、サツカースタジアムについての質問、図書館リノベーションへの意見等と河川支障木の撤去、畜産の臭い等の地域課題についての要望が出された。

(班長 山崎 諭)

1班

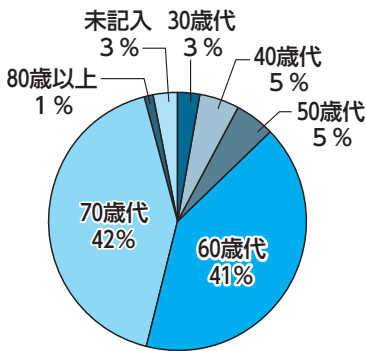
山口・田麦野・天童中部

伊藤和子、水戸芳美、佐藤孝一

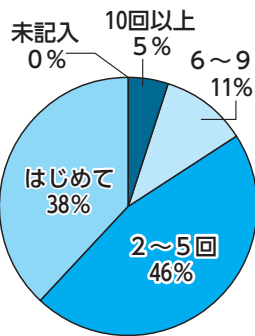
周辺集落では農業経営への不安に加え、若い世代が離れ、老人世帯増や老老介護などの深刻な問題が出された。参加者は少なかったが、積極的な意見交換ができた。女性の参加がなかったことは今後の課題。

(班長 伊藤 和子)

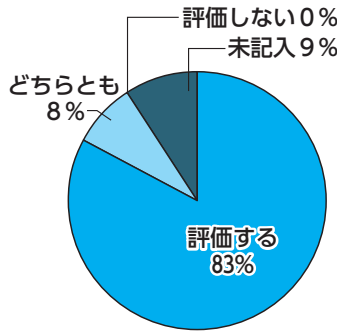
参加者へのアンケート 集計結果



年齢



参加回数



評価

会場ごとの参加者数

会場	参加者数	アンケート回答者数	アンケート回答率
天童南部	3	7	6
天童中部	7	7	4
天童北部	6	7	8
成生	6	7	8
蔵増	2	7	6
津山	2	4	6
山口	8	4	6
高嶺	8	4	6
長岡	8	4	6
干布	8	4	6
荒谷	8	4	6
参加者合計	68	65	95.6%

■議会・議員に対する意見・要望等 (自由記載欄の抜粋)

【議会報告・意見交換会の運営等】

◆出席者数は物足りなかった。来年度、女性に参加できる会になれば良いと思う。

◆中学生との意見交換会はすごく良いことだと思う。若い人は政治に興味を持たない人が多いと聞いているが、中高生との意見交換や議員活動への研修なども含めてもっと開催していただきたい。

【議員・議会への要望等】

◆地域課題を一般質問の場でお願したい。

◆議員報酬は800万円台で良いと思う。ただ仕事をもう少しする必要がある。

◆二元代表制の一翼として評価される従来の以上の活発な議員活動を望みたい。

◆執行部の追認機関とならない本来の役割の遂行を期待したい。

【市政への意見・要望等】

◆市民にとって有益な情報を発信することが市政の役目と考えている。

◆子どもの教育の充実と食育、環境整備と人口減少の対策をして過疎地域を減らしてほしい。

◆地域内に移住体験ができる一時宿泊施設を検討してほしい。



6班 荒谷・高嶺

鈴木照一、遠藤敬知、渡辺博司

今回は班編成に当たり各公民館管内に居住する議員を配置したこと、地域のさまざまな意見や要望等を活発にご提起いただき、とても有意義な意見交換会となった。お忙しい中ご参加くださった皆さんに感謝申し上げます。

今後も参加したくなる議会報告・意見交換会を模索し、改善を重ねていきたい。

(班長 鈴木 照一)

5班 長岡・寺津

石垣昭一、山口桂子、佐藤俊弥、笹原隆義

コロナ禍の影響もあり、少人数の開催ではあったが、それぞれの地域課題について活発な意見交換ができたことは大変良かった。

その中で行政と町内会との関わりについて提起されたが、さらなる議論が必要だと思う。

女性の参加が少ないことから、参加拡大の方策を検討する必要があると感じた。

(班長 石垣 昭一)

4班 干布・津山

水戸保、遠藤喜昭、野口さつき、五十嵐浩之

今回の参加者は少なかったが、その分、意見交換会の内容は現実的な問題提起であった。「社会的環境が変わった現在、町内会に入らない人がいて困っている」とか、「今年度の敬老会開催について、欠席者に何もないのは不公平ではないか」という、身近なことが話し合われ、有意義な時間を過ごせた。

(班長 水戸 保)

先駆けの 取組み学び まちの未来に

常任委員会行政視察報告

5月8日から11日にかけて、総務教育・環境福祉・経済建設の3常任委員会の行政視察が3日間の日程で実施されました。各委員会では、それぞれの担当分野での先進的な取組みを現地で調査・研究しました。

視察で学んだ内容は、より暮らしやすいまちづくりへの提案などに活用いたします。

総務教育常任委員会 (5月8日～10日)

- 鹿児島県鹿児島市 図書館を起点とした生涯学習事業及び施設整備について
- 熊本県和水町 移住定住の取組みについて
- 熊本県八代市 デジタル化推進事業について

年中無休の天文館図書館

16階建てビルの4階と5階を市の所有として図書館を新設した。特徴は、「居心地のよい空間の提供」。ゲートがなく常にBGMが流れ、会話や飲み物の持ち込みもできる。子どもが楽しめる「学びのあそび場」の空間を備え、イベントやワークショップも開催している。元日以外は営業し、入館者は10カ月ほどで80万人を超えた。

移住定住事業について

「日本マラソンの父」金栗四三氏の生地和水町は、人口9200人程度で減少が続く。空き家対策や新築住宅への補助、新婚さんへの奨励金、学校給食の無償化、小学校入学時の標準服支給等と手厚い施策を展開。古民家をリニューアルした「お試し暮らし住宅」を移住の第一歩として貸し出している。

「行かない窓口」の取組み

マイナンバーカードを利用したオンライン申請で、住民票、戸籍謄本・抄本、税証明書などが市役所に行かなくても取得でき、遠隔地で自動車のない市民へのサービス向上を図っている。また、マイナンバーカードを利用しないオンライン申請も整備して、デジタル化を推進している。

(委員長 山崎諭)



古民家をリフォームしたお試し暮らし住宅



AIによる本の貸出機の説明を受ける

環境福祉常任委員会

(5月9日～11日)

まるがめ
○香川県丸亀市

みとよ
○香川県三豊市

くらしき
○岡山県倉敷市

障がい者スポーツと球場の利活用

トンネルコンポスト方式によるごみ処理について

歴史や文化を活用したまちづくり

障がい者にスポーツの楽しさを

人口約11万人、中心部に丸亀城があり、石垣の高さは日本一。また、うちわ生産量シェアが全国の9割を占めている。丸亀市民球場は防災の拠点のほか、イベントや大会、各種団体、個人などの利活用が多く施設の稼働率が高い。身体障がい者野球大会も開催されている。



ごみから燃料に大変身

人口約6万人、三豊平野には、ため池が多数点在する。平成29年にごみ処理施設が民間委託され、可燃ごみを発酵させ固形燃料に変えて必要な所へ売却している。その際、CO₂やダイオキシンが発生しない。処理水が出なく臭いもない。これは全国初の処理方式である。

古き美しき街をいつまでも

人口約48万人、棋士大山康晴十五世名人は西阿知町（現倉敷市）で生まれた。将棋の街であり女流タイトル戦や小学生王将戦なども開催しており、将棋教室も盛んである。歴史的な街並みを保存する上で、伝統的建造物の修理をしながら美観地区を設けて環境整備を行っている。

(委員長 水戸芳美)



球場内で障がい者スポーツの説明を受ける



文化財の保存と活用の現場を視察

経済建設常任委員会

(5月9日～11日)

みのお
○大阪府箕面市

おおさか
○大阪府大阪市

たんば ささやま
○兵庫県丹波篠山市

農業公社について

スタジアムを活かしたまちづくりについて

無電柱化の取組みについて

農業公社について

箕面市は、大阪北部の住宅都市で、人口約14万人。

農家戸数は30年間で50%超の減少。農地の遊休化を防止するとともに、市内で生産された農産物を販売・消費できるよう、また学校給食でも積極的に箕面産を取り入れていくために、平成25年に市行政組織として「箕面市農業公社」を設置した。事業内容は農業振興につながっていると感心した。

スタジアムを活かしたまちづくり

あの大都市の大阪市に伺い、セレッソ大阪の新スタジアム「ヨドコウ桜スタジアム」を視察。新スタジアム建設に対しては、よほど税金を投入したのかと思いきや、大阪市では一銭も出していない話。一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブが寄付を募って完成したものであった。指定管理者として頑張っているセレッソ大阪スポーツクラブに拍手。

無電柱化の取組み

丹波篠山市は、兵庫県の中東部に位置する、人口約4万人の市。

総合計画策定に向けたアンケート調査において、約7割の市民が市の自然環境や景観を大切にするべきとの回答。そこで、無電柱化も検討項目とした。

小規模の自治体がいかに無電柱化の事業を叶えたのかを伺ったが、注視すべきは国の「景観まちづくり刷新モデル地区」交付金の活用だった。

(委員長 武田正二)



観戦したくなる工夫がされたスタジアム



無電柱化された市街

6月定例会

インターネットで議会中継

天童市議会

で

検索



<https://www.city.tendo.yamagata.jp/congress/>

令和5年度第3回市議会定例会(6月定例会)は、6月5日から6月19日までの15日間の会期で開かれました。

初日の本会議で市長提出の報告案件6件と人事議案19件について同意し、一般議案1件を可決しました。また、令和5年度一般会計補正予算や条例議案2件、一般議案1件が上程され、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、審査を経て最終日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議に委員会提出議案3件が上程され、採決が行われました。
(採決結果は12ページに掲載してあります。)

【審査日程】

月 日	内 容
6/5(月)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など)
6/8(木) 6/9(金)	本会議 (市政に対する一般質問)
6/13(火)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査) 環境福祉常任委員会 (付託案件の審査)
6/14(水)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
6/15(木)	予算特別委員会 (付託案件の審査、討論、表決)
6/19(月)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、6月8日・9日の2日間の日程で、9人の議員が行いました。行政サービスの向上や、不登校対策などについて、市長や教育長等の見解を求めました。
※議員の原稿をそのまま掲載しています。

清新会

【山口 桂子 議員】

■しあわせを実感できるまちづくりのために

■市民参画の推進について

【佐藤 俊弥 議員】

■選挙の投票所等のあり方について

■公園を気持ち良く使うために

【古澤 義弘 議員】

■犯罪被害者支援条例について

【鈴木 照一 議員】

■交通安全運動の推進

■行政サービス向上のために

質問者と質問事項

てんどう創生の会

【笹原 隆義 議員】

■時代に合った都市整備について

【三宅 和広 議員】

■不登校対策について

日本共産党天童市議団

【石垣 昭一 議員】

■少子高齢化社会での地域振興のために

【伊藤 和子 議員】

■行政と自治会活動の協働の関わり方について

会派に所属していない議員

【野口 さつき 議員】

■誰一人取り残されない学びの保障に向けた支援について
■子宮頸がん撲滅について

1

やまぐち

桂子 議員



詳しくはコチラ

ウェルビーイングで
幸せなまちづくりを



🔵 ウェルビーイングとは、身体的、社会的に良い状態のことを言う。人々が持続的に幸福な生活をし、幸福が続く未来のために、周囲との関係性やつながりが大切であり、居場所やコミュニティづくりが重要と考える。

市民のライフスタイルを支援する仕組みや自発的参加を促すような仕組みづくりのため、「ウェルビーイング」をまちづくりの生かしていく考えはないか。

【A】第七次天童市総合計画の将来像を「笑顔にぎわい しあわせ実感 健康都市」とし、市民満足度の向上を目指した施策に取り組んでおり、ウェルビーイング的な考えを盛り込んでいると認識している。

第七次天童市総合計画、第2期天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略等で推進している事業を一つ一つ積み上げること

で、市民一人ひとりに幸福感を実感していただく。

今後、きめ細やかな行政サービスを展開するとともに、市民一人ひとりがしあわせを実感できる施策を推進していく。

2

● 2014年10月1日

としや
俊弥
議員



詳しくはコチラ

これでいいのか
選挙投票所



Q 市内に53カ所あった投票所を27カ所に統合して10年近くになるが、数を減らして得たものは。

【A】投票環境の向上では、バリアフリー化や駐車場の確保が図られ、選挙事務の効率化などの点で効果があったものと捉えている。

また、期日前投票を市内2カ所で行うことで利便性が向上し、近年の選挙では投票者の5割以上の方が期日前投票を利用している。国政選挙においては、統合後の方が全国の投票率を大きく上回っており、一定の評価ができると思う。

選挙立会人の投票日の立会業務時間が長いので、二交代制にできないか。

A 他市でも行っているのですが、負担軽減という意味から調査していく。



▲今後も投票率向上への取組みが期待される

3

ふるさわ

よしひろ
義弘
議員



詳しくはコチラ

早期の犯罪被害者等の 支援条例の制定へ



3月定例会において、犯罪被害者等支援条例の制定について市の考えをお聞きした。市からは犯罪被害者等が現に生活している地域社会において、支援を適切に受けることができる基盤づくりが重要であるとの認識を示され、市として犯罪被害者等の支援のために講じ得る施策等について、条例制定の必要性も含めて調査研究をしていくとの前向きな発言をいただいた。3カ月が経ち、県内市町においても条例制定に向けた動きが見られる。本市においても条例制定に向けて加速していかねばと考えるが市の考えを伺う。

A現在、本市では国、県、民間団体との役割分担を踏まえて、市として犯罪被害者等の支援のために講じ得る施策等について検討しており、今後、関係機関との検討会を開催し、条例の年度内の制定に向けた準備を進めていく。また、庁内の関係部署による条例制定のための検討組織を立ち上げ、その中において検討を行うという段取りで進めていく。

4

鈴木 照一 議員



詳しくはコチラ

自転車利用時のヘルメット着用の対策は



Q 本年4月1日から、自転車を利用する全ての人を対象に、ヘルメットの着用が努力義務化されたが、ヘルメット着用率を向上させるのは容易ではない。今後は世代ごとの特性に合った方法で、これまでに以上に関係機関と連携した働き掛けが必要と思うが、本市の対応について伺う。

A これまでも天童警察署や交通安全協会等とともに、駅前等で自転車利用者に対するヘルメット着用の啓発活動を行っているが、今後は学校の生徒会活動や、いきいきサロン等、さまざまな機会を捉えて、これまでに以上に積極的な啓発活動を行っていききたい。

Q ヘルメットの着用率向上のために、自転車用ヘルメットの購入補助を検討してはどうか。

A 現在、ヘルメットの購入補助は考えていないが、ヘルメットの試着会を開催するなど、購入を促進するイベント等を考えている。今後のヘルメット着用の広がりを見ながら、購入補助も念頭に活動を進めていきたい。

5

笹原 隆義 議員



詳しくはコチラ

街路樹のあり方について検討すべき



Q 街路樹の役割は、交通安全・街の景観・環境美化と多岐にわたっているが課題も多い。街路樹の大量の落ち葉で景観を損ねたり、足を滑らせてケガをしたりしている。また、樹木の幹が太くなり、車の合流時に視界を妨げて事故につながるケースなども出てきている。そこで、本市の将来を考えたとき、街路樹を伐採して間隔を空けたり、植え替えたりすべきと思うがどうか。

A 植えられた当時と比べて大木になり、根上がりによる歩道の破損や歩行者の通行に支障を来している。今後は地域の方々と街路樹のあり方について協議して、道路美化に関する意識向上を図り、協働でより良い街路樹管理をしていく。

Q 具体的な説明を。

A 試行的な取組みだが、区域・路線を選定して街路樹の便益、雨水浸透・貯留、景観向上、温暖化防止等について十分評価して、植え替え、間引き、撤去など視野に入れて、地域の方々と協議していく計画となる。

6

三宅 和広 議員



詳しくはコチラ

不登校の児童生徒への支援策は



Q 文部科学省は、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（通称COCOLOプラン）を取りまとめた。これを受けた本市の対応は。

A 本市では、不登校の児童生徒が安心して過ごせる場所として、校内教育支援センター機能を持つ別室を設置している。また、学校外の学びの場として、適応指導教室であるアウトースクールを運営している。さらに、多様な学びの場である市内のフリースクール等の情報を保護者に提供している。

Q フリースクール等の利用者への補助金、事業者への補助金を考えてはどうか。

A 本市の実情を考慮し、不登校児童生徒の学校復帰、または社会的自立に資するような観点があるものは、関係部署と連携した調査研究をしていきたい。

Q 天童市子ども・子育て支援事業計画に不登校対策についても明記する必要があるのではないか。

A 令和6年度に予定している第三期計画の策定作業において検討していく。

7

石垣 昭一



詳しくはコチラ

寺津児童館を
どうするのか



Q 地域の保育ニーズを的確に把握する取り組みを早急に進めるために、アンケートを行ったが、結果はどうだったのか。

また、9月には令和6年度の募集が始まるが、どう対応するか伺いたい。

【A】今年2月、就学前児童がいる36世帯にアンケートを実施。22世帯から回答を得た。7割以上の世帯が共働きで、利用しやすい施設の立地条件として、自宅付近、就業先付近の順に回答が多い。利用開始年齢は2歳以下からが9割を占めている。3歳から5歳までの集団保育については、9割以上の世帯が必要と回答し、うち8割が1クラス10人以上が必要と回答している。

開館時間や利用児童数が少ないなどの理由で、8割以上が寺津児童館以外の施設利用を希望している。

アンケート結果は、詳細を議会に報告し、今後の対応は、保護者や地域の方々に説明をした上で決定したいと考えている。

8

伊藤 和子



詳しくはコチラ

行政と自治会の 協働の関わり方は



Q 昨年末に行った、持続可能な自治会活動の検討に係るアンケート調査の目的は、市で業務を依頼している項目はいくつあるのか。また、アンケートの反応は。

A市から自治会に依頼している業務に係る現状や改善点を聞くほか、自治会の現状や活動方針を確認する目的で実施した。結果を今後の行政運営の参考にし、業務依頼に係るルール見直しを検討し、協働によるまちづくりを進めたい。

現在、80件ほどの業務を依頼しているが、いろいろな角度から点検し、来年3月を目途に整理したい。

アンケートでは

よう望む自治会が一定程度ある一方、それを上回る自治会が自分たちの運営や活動を自ら変えていく必要があると答えている。



▲緑地帯の花植え

9

野口さつき



詳しくはコチラ

児童生徒の心の不調を
キャッチするシステムを



文部科学省は、今年3月、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（通称COCOLOプラン）を発表した。本市の現在の不登校の実態と対策は、不登校を未然に防ぐため、心の小さなSOSをキャッチする、保健室のタブレットで質問に答えることで自殺リスクや精神的不調を可視化するシステムを導入してはどうか。

A 令和4年度の不登校児童生徒数は117人で、令和3年度と比べ増加している。対策は、電話連絡や家庭訪問等を通じて、学校とのつながりを絶やさないように努めるほか、不登校あるいは不登校の兆候が見られる児童生徒への適切な支援につなげるため、個票を作成し組織的な体制の下、個々の状況に応じた支援を行っている。今後も不登校の要因を把握し、児童生徒の思いに寄り添いつつ適切に早期支援に努めていく。タブレットを活用したアプリの種類は、何種類かある。国のマニュアルを踏まえ、調査研究を進めていく。

常任委員会 議案を審査しました

6月定例会では、議案3件について各常任委員会へ審査を付託しました。

また、最終日19日の本会議では、各委員長が審査状況について次のとおり報告しました。



総務教育

救助支援車を更新

消防課長 車体の経年劣化

により活動支援に支障を来す恐れがあるため、車両を更新し、多様化する自然災害や救助事案への迅速な対応と、消防力の向上を図るもの。

更新する車両は、環境基準に適合したディーゼルエンジンで、走破性が高い四輪駆動となっており、車両後部に昇降装置を装備し、資機材の積み降ろしの安全性と迅速化、隊員の安全と負担軽減を図るもの。

Q この車両を運転できる免許の種類はどのようになっているのか、入ったばかりの若い消防職員でも運転できるのか。

A 車両の運転には中型免許が必要となる。また、消防職員に対して、大型免許の資格取得を進めており、多くの職員が運転できるような体制を整備している。



環境福祉

はな駒荘のサービス向上のために

社会福祉課長 天童温泉は

な駒荘を、令和6年度から入館料を指定管理者の収入とする利用料金制度に移行するとともに、要望の多かった回数券を導入するもの。

Q 指定管理委託料にどのような影響があるのか。

A 今まで使用料として市の収入となっていたものが、利用料金として指定管理者の収入となるため、指定管理委託料は減ることになる。

Q 回数券の枚数は決まっているのか。



▲さらなる市民サービスの向上が期待される



経済建設

健康増進施設を指定管理者制度に

商工観光課長 健康増進施設

Replay TENDOが令和6年度から指定管理者制度に移行することに伴い、指定管理者による管理と業務を条例の条文に追加するもの。

Q 指定管理者に移行するが、具体的な業務内容は、

A 現在の業務委託と同じ内容を指定管理者に実施してもらう。

Q 施設利用者を増やすため、担当課としてはどのように関わっていくのか。

A 利用者増加の方策は担当課でも計画していくが、指定管理者自らが接遇やサービスを向上させることで、利用者から何度も訪れてもらうことにつながると考える。



敬老会見直しを調査

環境福祉常任委員会

5月18日、「令和5年度以降の敬老事業のあり方について」所管事務調査を実施しました。

昨年度まで市で主催していた敬老会を町内会等で実施する場合、対象者の把握が難しくなることや、交付金の対象者をもっと広げてほしいのではないかとということが主に議論されました。

社会福祉課からは、今年度はやり方を変更しての初年度であるため、各町内会等でより良い形で開催をしていただけるように、ご意見を伺いたいとの説明を受けました。

さらに5月30日の委員会では、敬老会対象者に祝品等を贈呈する事業も対象とするように変更したとの説明を受けました。より良い敬老事業となるように、今後も取り組んでいきます。

令和5年度 補正予算

6月定例会に補正予算が提出され、予算特別委員会での審査後の本会議で、原案のとおり可決されました。

一般会計 4億2499万円を可決【6月補正】

賑わい応援！プレミアム率50^{ペント}の商品券を販売

Q 販売するプレミアム付商品券の内容は。

A 販売価格が1万円で1万5000円分利用できる。半分は小型店専用券で、残りは大型店でも利用できる共通券。対象は8月1日時点で市内に住民登録がある方など。1人につき1冊購入可能。販売・使用の開始は10月1日から。

Q 売れ残った商品券を抽選で再販売する考えは。

A 売れ残りの数量の予測ができないため、事業費の残りは他の事業に活用したい。

Q 商品券の電子化に取り組むべきでは。

A 電子商品券は、慣れない人にとって使いづらいため、より多くの方が利用できる紙のみの扱いとする。扱う店舗側も6割以上が紙の商品券を希望している。また、電子化する場合、紙の商品券よりも経費がかかる。

Q 1冊1万円の商品券を1冊5000円単位に小口化を検討したか。

A 印刷費用や管理等のコストが大きくなるため、1冊1万円の単位とした。

市制施行65周年 記念事業

Q 記念式典での講演の内容はどのようなものか。

A 市民の関心を高めるため、講師には著名人を招きたいと考えている。現在交渉中だが、8月上～中旬には皆さんにお知らせしたいと考えている。

Q 日程は市民が参加しやすいものか。また、著名人を講師に呼ぶと希望者が定数を上回る可能性もあるが、対象者は限定するのか。

A 市制施行の日は10月1日だが、記念式典は10月15日の日曜日に設定する。対象者は市民に限定し、応募多数の場合は抽選とする。

ワクチン副反応 もしものときは

Q 新型コロナワクチンの接種で重篤な副反応を訴えた事例は。

A 高齢者等を対象とした令和5年度春開始の接種を実施している中では、重篤な副反応を訴えるケースは今のところない。予防接種による重大な体調の変調がある方がいれば、国の予防接種健康被害救済制度の対象となる場合がある。

るので、市が設置する予防接種健康被害調査委員会に諮り、国へ進達する。



提出された議案とその結果

令和5年度第1回臨時会、第2回臨時会、第3回定例会に提出された議案とその結果は、次のとおりです。

第1回臨時会（4月26日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第1号	令和4年度天童市一般会計補正予算（第11号）の専決処分の承認を求めることについて	承認
議第1号	令和5年度天童市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議第2号	天童市市税条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第3号	天童市介護保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)

第2回臨時会（5月16日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第2号	交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
議第4号	天童最上川温泉の温泉等に関する権利の取得について	原案可決 (全会一致)

第3回定例会（6月5日～6月19日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第3号	令和4年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第4号	令和4年度天童市工業団地整備事業特別会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第5号	天童市土地開発公社の経営状況及び事業計画の報告について	報告
報第6号	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況及び事業計画の報告について	報告

議案番号	件名	結果
報第7号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況及び事業計画の報告について	報告
報第8号	令和4年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報告
議第5号	令和5年度天童市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
議第6号	天童市健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第7号	天童市高齢者健康福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第8号	救助支援車の取得について	原案可決 (全会一致)
議第9号～議第27号	天童市農業委員会委員の任命について	同意 (全会一致)
議第28号	天童市学校給食センター炊飯施設等整備建築主体工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第1号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
委員会提出議案第2号	天童市議会委員会条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
委員会提出議案第3号	天童市議会会議規則の一部改正について	原案可決 (全会一致)

請願・陳情の結果

今定例会に提出された請願を所管常任委員会で審査・採決した結果、請陳第1号は継続審査（※）となりましたが、6月19日の最終日の本会議で採決の結果、下記の賛否一覧表のとおり否決されました。

このため、本会議を休憩して再度所管常任委員会で審査・採決を行った結果、採択となり、再開された本会議でも採択されました。

※継続審査：議会の会期中に審議を終了できない案件を、閉会中も引き続き審査すること。

議案等に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致）

議案	議席番号 氏名 会派	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		佐藤 孝一	五十嵐 浩之	野口 さつき	古澤 義弘	熊澤 光史	笹原 隆義	三宅 和広	遠藤 喜昭	佐藤 俊弥	渡辺 博司	武田 正二	水戸 芳美	遠藤 敬知	狩野 佳和	松田 光也	山口 桂子	山崎 諭	石垣 昭一	鈴木 照一	水戸 保	伊藤 和子	村山 俊雄
請陳第1号 芳賀タウン南側地区の市街化区域編入についての請願（継続審査とすることについての採決）	議案	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	議
請陳第1号 芳賀タウン南側地区の市街化区域編入についての請願（採択とすることについての採決）	議案	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	議

※ ○＝賛成、×＝反対、議＝議長（議長は採決に加わらない。）

※ 会派：清＝清新会、て＝てんどう創生の会、共＝日本共産党天童市議団、無＝会派に所属していない議員

件名	提出者	付託委員会	結果
芳賀タウン南側地区の市街化区域編入についての請願	長岡契約会 委員長 大内 崇	経済建設	採択
免税軽油制度の継続を求める請願書について	東北索道協会山形地区部会 部会長 岡崎 彌平治 特定非営利活動法人NPO天童高原 理事長 工藤 一夫	総務教育	採択

討 論

6月19日の本会議において、次の請願1件について討論が行われました。
採決の結果、賛成多数で採択となりました。

▼請陳第1号

芳賀タウン南側地区の市街化区域編入についての請願

〈反対〉伊藤 和子議員

最初の委員会で市内のバンスある発展のためにも、学区を含めた検討が必要、周辺集落では将来、小学校で複式学級になるなど心配の声があり、継続審査となった。先日開催された議会報告・意見交換会でも周辺集落の若者流出、老人世帯の増加、老老介護など深刻な実情が出された。市内の現状は、空き地や空き家が目立つ。再審査では賛否のみの表決となり採択となつたが、早急に進める必要性はない。もっと慎重に検討すべき。

農業委員会委員の任命に同意

農業委員会委員の任期が令和5年7月19日をもって満了することに伴い、下記の方を任命することに同意しました。

荒沢亨氏、五十嵐慶一氏、五十嵐晋氏、大石吉隆氏、小川晋氏、今野滋氏、齋藤照一氏、佐藤悦雄氏、白田好之氏、須藤隆司氏、清野貢市氏、高橋昭義氏、武田仁氏、富樫秀幸氏、仲野真氏、松田康政氏、三宅藤義氏、矢野美佐子氏、山崎紀子氏

永年勤続表彰

全国市議会議長会から下記の議員に表彰状が伝達されました。

◇議員35年以上

伊藤 和子 議員(昭和62年10月1日～)

◇議員15年以上

松田 光也 議員(平成19年10月1日～)

狩野 佳和 議員(平成19年10月1日～)

議会のうごき (4月16日～7月15日)

■4月

- 21日 市長要請全員協議会
議会運営委員会
- 26日 議会運営委員会
第1回市議会臨時会
市長要請全員協議会
全員協議会
市長要請各派代表者会
各派代表者会

■5月

- 8日～10日 総務教育常任委員会行政視察(鹿児島県鹿児島市、熊本県和水町・八代市)
- 9日～11日 環境福祉常任委員会行政視察(香川県丸亀市・三豊市、岡山県倉敷市)
経済建設常任委員会行政視察(大阪府箕面市・大阪市、兵庫県丹波篠山市)
- 10日 埼玉県久喜市議会視察来童
- 12日 市長要請全員協議会
市長要請総務教育常任委員会(天童市学校給食センター炊飯施設等整備建築主体工事について)
議会運営委員会
- 15日 議会報告・意見交換会(山口・田麦野、蔵増、天童北部、干布、長岡、荒谷)
- 16日 議会運営委員会
第2回市議会臨時会
議会報告・意見交換会(天童中部、天童南部、成生、津山、寺津、高嶺)
- 18日 環境福祉常任委員会所管事務調査(令和5年度以降の敬老事業のあり方について)
- 22日 市長要請各派代表者会
- 23日 市長要請全員協議会
各派代表者会
- 29日 議会運営委員会

- 全国自治体病院経営都市議会協議会理事会・定期総会(議長／東京都)
- 30日 市長要請環境福祉常任委員会(天童市地域敬老会事業交付金の見直し等について)

■6月

- 2日 山形県市議会議長会定期総会(議長、副議長、事務局長／山形市)
- 5日～19日 第3回市議会定例会
広報委員会
- 8日 各派代表者会
- 13日 市長要請環境福祉常任委員会(寺津地域の就学前児童の保育のあり方に関するアンケート結果の報告について)
全国温泉所在都市議会議長協議会役員会・総会(議長、事務局長／東京都)
- 14日 全国市議会議長会総会・各委員会合同会議(議長、事務局長／東京都)
- 15日 広報委員会
- 16日 議会運営委員会
- 20日 さくらんぼトップセールス(議長／東京都)
- 28日 県への重要事業要望(議長、事務局長／県庁)
- 29日 各派代表者会

■7月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 広報委員会
千葉県袖ヶ浦市議会視察来童
- 10日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会
議員全員協議会・全員協議会・定例会
- 11日 愛知県岡崎市議会視察来童
- 11日～13日 清新会先進地視察(静岡県掛川市・熱海市、千葉県市川市)
- 12日～13日 てんどう創生の会先進地視察(群馬県太田市、栃木県栃木市)
- 14日 広報委員会

今回の表紙イラスト

作者紹介

今回の表紙のイラストは、四中3年の村山柚稀さん（写真前列中央）から作品を制作していただきました。ありがとうございます。

村山さんに作品について聞いてみました。



▲四中美術部の皆さん

むらやま ゆずき
村山 柚稀さん（四中3年）

Q 作品の説明をお願いします。

A 入道雲と優雅に泳ぐ金魚で8月をイメージしました。水色などの青系の涼しげな色を使い、夏らしさを表現しました。

Q 制作で力を入れた点や難しかった点は。

A 特に力を入れた点は、金魚の色です。赤以外にも黄色やオレンジを入れたりして、より金魚に見えるように力を入れました。

Q より良いまちづくりのために一言。

A このまちの良いところは、将棋という文化だったり、果物の生産量が多いところだと思います。多くの人に天童に来てもらいたいので、宣伝に一層力を入れると良いと思います。

9月定例会の日程

中継あり

8/25	金	本会議（初日）	
26	土		
27	日		
28	月		
29	火	本会議（一般質問）	
30	水	本会議（一般質問）	
31	木	常任委員会	
9/1	金	常任委員会	
2	土		
3	日		
4	月	決算特別委員会	
5	火	決算特別委員会	
6	水	決算特別委員会	
7	木	決算特別委員会	
8	金	予算特別委員会	
9	土		
10	日		
11	月		
12	火	本会議（最終日）	

※請願の締め切りは8月17日（木）正午の予定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

旬のトピックス

蔵増小6年生が社会科見学で議会を訪問！



6月22日、蔵増小6年生が社会科見学で議会を訪問しました。
初めて入る議場に児童たちは興味津々。実際に議員席に座って議会のしくみや市議会議員選挙について真剣な表情で説明を聞いていました。
児童からは、「被選挙権は何歳からなのか」、「議員定数を21人にした経緯は」といった質問がありました。
終了後、「今度は議会の傍聴してみたい」といった声も聞かれました。
蔵増小の皆さん、またのお越しをお待ちしています！

